

古街道通信

復元PJ

Vol.11

発行 者：古街道PJ事務局

発行 日：令和5年3月吉日

発行責任者：朝倉 俊昭



今年度最後の作業を実施！

3月19日（日）。5名が参加して、合谷ルート
の倒木撤去、南居ルートの展望所整備を行いました。

倒木の撤去



沢出合いの丸太橋
の所に倒木あり

まずは、枝を落と
してから切断開始



かたくり平の手前にも
倒木あり！伐採開始

朝倉会長が、
チェーンソー
で枝打ち中



倒木を裏返して
残りの枝を切断



展望所の整備



朝倉会長自ら
展望を妨げる
雑木を伐採

見よ！この
絶景を・・・

伐採木で丸太の
ベンチを作成

木の切り株で
背もたれ付きベ
ンチを作成

福町町内会3
人によるベンチ
の強度実験



展望所

城山山頂
202m



社清明南

前回に引き続き、泰澄大師のお話です。今回は、清明、社南及び麻生津地区にとって大変重要な人物であったこととお話しします。



私は、社南地区の誇りである「江守の里山車」を四半世紀近くに亘って作ってきましたが、毎年、山車の題材には頭を悩ませているところです。そんな中、2013年には古代の福井県における偉大な人物の一人であり、その伝記はほとんどが伝説のベールに包まれている泰澄大師を題材にすることとしました。

そこで、泰澄大師のことに詳しくあった清明地区在住の故角谷先生にお願いしてお話を伺ったところ、それは熱

心に泰澄大師のことはもちろん、清明、社南地区の歴史について面白おかしく説明してくださいました。

ただ、出来上がった泰澄大師の山車を角谷先生に見ていただけなかったことが悔やまれてなりません。

泰澄大師が生まれたのは麻生津に現存する泰澄寺であるが、南江守町にある盛福寺の石碑によると、泰澄大師の母親は南江守町で麻生津川（現：江端川）の船の渡し（船頭）をしていた家の娘であったとされている。

また、泰澄は山師でもあったことから、**金**の鉱脈も言い当てたということで、南江守町と杉谷町に金山跡の名残があるとされているが、さらに、それを線で結ぶとその延長線上に西谷の金山がある。

そんな城山の麓の3地区が、千三百年の時を越えて連携できるのは本当に喜ばしいことと思います。（田嶋 則次氏）



1 2 これからの活動予定

これからの古街道整備計画、役員会等の活動及び開催予定についてお知らせします。

整備計画

- 4月〇日（〇）
整備日及び整備内容は未定

役員会等

- 3月28日（火）19:00 社南公民館
令和4年度事業決算の報告
令和5年度事業計画の検討
他
- 総会については、5月上旬（ゴールデンウィーク後）を予定しています。



編集後記

桜の花がいつの間にか咲きましたが、3月に開花ということで本当に桜の開花が早まっています。これも地球温暖化の影響でしょうか？異常気象が心配です。

古街道復元PJ会の令和4年度の事業も今月末をもって終了します。本当にお疲れさまでした。そして、令和5年度も頑張りましょう。

古街道通信も皆様のお蔭でどうにか毎月発行してお届けすることができました。これからもよろしくお願いします。（thousand fall）



（バックナンバー）